



# 中間貯蔵施設区域及びその周辺の 動・植物等調査結果(2024年度)

2025年5月  
環境省

# 動・植物調査の結果(令和6年度)

本業務は、中間貯蔵施設事業としての除去土壌等の輸送に際し、動・植物への影響の有無を確認するため、中間貯蔵施設区域内及びその周辺において調査を実施しました。

## 双葉町(中間貯蔵施設区域及びその周辺)

### ●調査時期

- ・ 7月～8月及び2月～3月(魚類、底生生物、猛禽類)

### ●調査項目

#### ● 魚類\* : 8目12科27種

スナヤツメ類、ニホンウナギ、コイ等が確認されました。

#### ● 底生生物(貝類)\* : 3目6科8種

カワニナ、コモチカワツボ、モノアラガイ等が確認されました。

#### ● 底生生物(水生昆虫)\* : 8目55科132種

トウヨウモンカゲロウ、モンカゲロウ、オオシロカゲロウ等が確認されました。

今回の調査では、前回同様、普通種や県・国のレッドリスト掲載種が複数確認されました。調査結果比較では、2023年度から続く、夏季の気温や水温の上昇が一因と考えられる確認種数及び個体数の減少傾向が見られましたが、中間貯蔵施設内・外に顕著な差は確認されず、事業による影響が生じている可能性は低いと判断されました。

### ●猛禽類(毎年調査)

巣内育雛期及び巣外育雛期にあたる夏季にミサゴ、ハチクマ、ツミ、ハイタカ、オオタカ、サンバ、ノスリ、チョウゲンボウ、ハヤブサが、求愛・造巣期にあたる冬季にミサゴ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、クマタカ、ハヤブサが確認されました。

## 大熊町(中間貯蔵施設区域及びその周辺)

### ●調査時期

- ・ 7月～8月及び2月～3月(魚類、底生生物、猛禽類)

### ●調査項目

#### ● 魚類\* : 5目9科22種

ニホンウナギ、コイ、ギンブナ等が確認されました。

#### ● 底生生物(貝類)\* : 3目5科8種

カワニナ、サカマキガイ、モノアラガイ等が確認されました。

#### ● 底生生物(水生昆虫)\* : 8目60科142種

ヒメトビロカゲロウ、キヒロカワカゲロウ、トウヨウモンカゲロウ等が確認されました。

今回の調査では、前回同様、普通種や県・国のレッドリスト掲載種が複数確認されました。調査結果比較では、2023年度から続く、夏季の気温や水温の上昇が一因と考えられる確認種数及び個体数の減少傾向が見られましたが、中間貯蔵施設内・外に顕著な差は確認されず、事業による影響が生じている可能性は低いと判断されました。

### ●猛禽類(毎年調査)

巣内育雛期及び巣外育雛期にあたる夏季にミサゴ、ハチクマ、チュウヒ、ツミ、ハイタカ、オオタカ、サンバ、ノスリ、チョウゲンボウ、ハヤブサが、求愛・造巣期にあたる冬季にミサゴ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサが確認されました。

\* : 3年間隔で調査 魚類・底生生物 : 令和3年度 / 植物・昆虫 : 令和4年度 / 哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類 : 令和5年度